発見された遺構と遺物

昨年度の調査では、縄文時代晩期の貯蔵穴を含む穴が25基と縄文時代中期後葉の流路跡の一部がみつかりました。今年度の調査では、縄文時代中期～晩期にかけての集落跡が重層的にみつかりました。

縄文時代 中期後葉～末葉（約4300～4100年前）

竪穴住居跡4軒以上、土坑、土器埋設遺構、配石遺構が検出されています。竪穴住居跡は、Ⅱ区の南側の平坦面にかけて分布しています。住居跡は縄文時代中期末頃を主体とし、複式炉が作られています。

Ⅰ区から検出された流路跡からは、縄文時代中期後葉を主体とする多くの土器や石器と共に、多量の有機質遺物や自然遺物が出土しました。有機質遺物の内訳は、容器、装飾品などの漆製品や斧柄・弓・刈り払い具・発火具・杭などの木製品が出土しました。そのほかにも竹類で作られたカゴや敷物などの編み組み製品も出土しています。自然遺物は、自然木やクルミ・ドングリ・クリ・トチなどの堅果類などのほかに、ヒョウタンの実や種子類・キノコ類・獣骨・昆虫など多種にわたって出土しています。

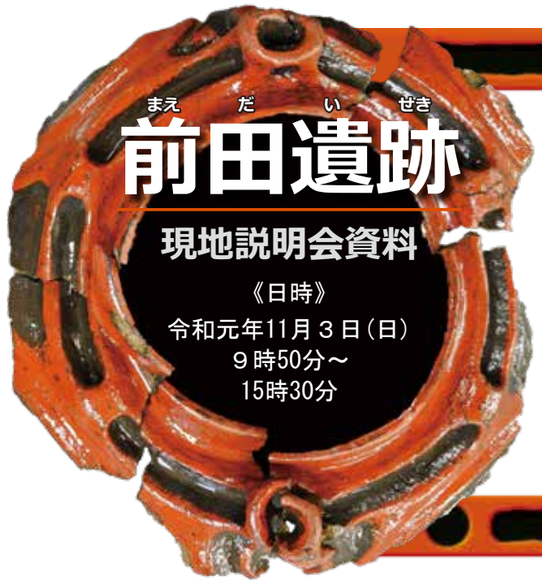
縄文時代 後期初頭～前葉（約4000～3800年前）

竪穴住居跡2軒以上、敷石住居跡3軒、土器埋設遺構、土坑、配石遺構が検出されました。8号住居跡は、床面に平らな石を敷きつめた敷石住居跡で、平面形が柄鏡形になります。規模は南北7.8m、東西4.5mを測ります。

縄文時代 後期末葉～晩期前葉（約3200～2800年前）

竪穴住居跡1軒、土坑、配石遺構、柱穴、土器埋設遺構が検出されました。この中でも特筆すべきは、200基ほど検出されている柱穴群です。柱穴は、東西40m、南北30mの範囲で分布しています。おそらく掘立柱建物跡を構成する可能性があります。柱穴の中には柱材が残っているものもあり、最大のもので、直径60cmの丸太材があります。このほかにも、30基以上の土器を埋設した遺構が集中している範囲があります。集中範囲は、東西15m、南北10mで分布しています。また、44号土器埋設遺構からは、幼児と考えられる頭骨の一部が出土しました。

Ⅰ区からは、土坑が25基ほど検出されています。土坑は貯蔵用の穴と考えられ、中には、貯蔵していたドングリがまとまって入っていました。



前田遺跡

現地説明会資料

《日時》
令和元年11月３日（日）
９時50分～
15時30分

■調査場所
伊達郡川俣町大字小綱木字前田地内
■調査面積
１次調査　2,800㎡
２次調査　3,600㎡
■調査期間
１次調査　平成30年７月18日～平成30年12月14日
２次調査　平成31年４月18日～令和元年12月予定
■調査主体
福島県教育委員会
■調査機関
公益財団法人福島県文化振興財団
■協　　力
川俣町教育委員会

はじめに

福島県教育委員会では、国道114号改良工事に伴う前田遺跡の発掘調査を昨年度に引き続き実施しています。国道114号は、県北地域と相双地域を東西に結ぶ重要な幹線道路で、「ふくしま復興再生道路」として位置づけられています。急カーブや急勾配の箇所を円滑に通行するための改良工事が進められています。前田遺跡は、川俣町中心部より南東に約3kmの段丘上に所在する遺跡です。本遺跡の周辺には、高根川を挟んだ南側に、出付遺跡や芹ノ沢遺跡など縄文時代の散布地が点在します。

周辺の主な遺跡

縄文時代中期

流路跡全景

縄文時代晩期

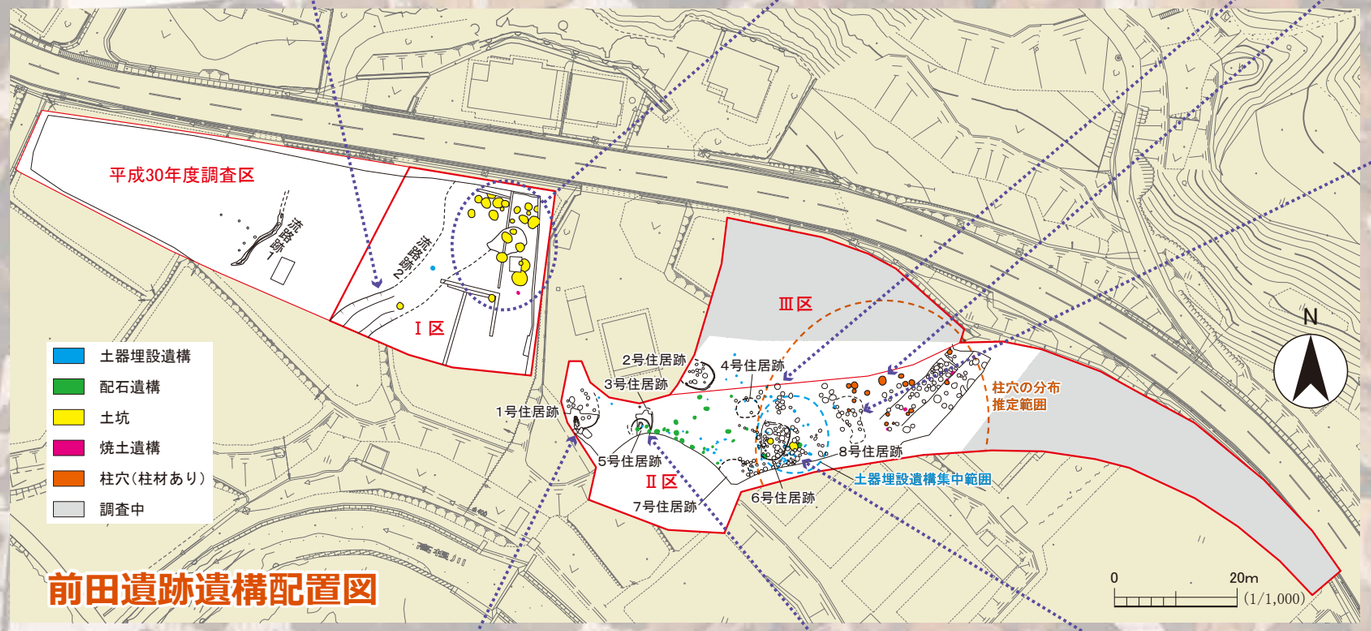
土坑群

ドングリ出土状況

44号土器埋設遺構

人骨出土状況

柱穴O6－P6（柱材）



前田遺跡遺構配置図

8号住居跡

1号配石遺構

40号土器埋設遺構

52号土器埋設遺構

縄文時代後期

6号住居跡　石囲炉

縄文時代中期

1号住居跡　複式炉

5号住居跡

65号土器埋設遺構

ここがすごいぞ!
前田遺跡
その1

前田遺跡の流路跡には四千数百年前の森と縄文人のくらしの息吹が眠っていました

木器・自然遺物出土状況（中期後葉）

埋没林（中期後葉）

木杭

クルミ堆積範囲（中期後葉）

木器　杓子未製品（中期後葉）

木器　斧柄（中期後葉）

木器　刈り払い具（中期後葉）

樹皮が巻いてある様子

木器　飾り弓（中期後葉）

木器　火切り棒？（中期後葉）

木器　火切り臼（中期後葉）

土器（中期後葉）

編み組み製品（中期後葉）

編み組み製品（中期後葉）

土器（中期後葉）

ここがすごいぞ!
前田遺跡
その2

多数の漆製品が出土！
（これらは後日公開する予定です）

令和によみがえる
赤と黒の縄文の美

鉢　浮き彫り（中期後葉）

赤黒塗り鉢（中期後葉）

鉢　彩文

蓋？（中期後葉）

杓子把手（中期後葉）

容器把手（中期後葉）

容器把手（中期後葉）

蓋？（中期後葉）

儀仗形漆器（中期後葉）

象嵌装飾付把手（中期後葉）

櫛（中期後葉）

漆塗り土器

漆塗り土器

— 日本の漆器文化の原点、ここに極まる —